

科目名	人間関係（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 後期	単位数	1		
担当教員	吉田 亜矢				
内容および計画	<p>乳幼児期の人間関係は、身近な養育者とのかかわりから始まり、地域社会の人々、同世代の子ども達とのかかわりへと広がっていく。幼稚園等の集団生活の人間関係の中で、自我が芽生え、自己主張をし、次第に他者の存在に気づき、社会性を身に付けていく。こうした子どもの人間関係の育ちを理解するとともに、本科目では人とのかかわりに関する領域「人間関係」における幼児の人とのかかわりの育ちとそれを支える保育者の援助のあり方について理解を深める。</p> <p>人間関係の発達を理解をもとに、様々な場面を想定した際の個々の子どもへの指導の実際、評価法について、模擬授業を行い、保育者の役割、個々の子どもに対する責務等の理解を深める。また、幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基に幼児教育・保育における「人間関係」および「人間関係の発達」の概要についての事例を用いて理解を深める。さらに、保育指導計画の立案と検討を通して、具体的な幼児教育・保育の場における諸問題とその解決を基盤として実践力を身に付ける。</p>				
1	幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領教育の基本、ねらい、全体構造と科目「人間関係」～各年齢における人間関係の発達と保育者のかかわり～				
2	指導上の留意点（情報機器・教材についてを含む）と評価の意義と方法、保育指導計画の立案と検討：母子分離（分離不安）				
3	模擬保育、振り返り：母子分離(分離不安)				
4	保育指導計画の立案と検討：保育者との信頼関係				
5	模擬保育、振り返り：保育者との信頼関係				
6	保育指導計画の立案と検討：自我の芽生えと自己主張、自己中心性				
7	模擬保育、振り返り：自我の芽生えと自己主張、自己中心性				
8	保育指導計画の立案と検討：集団生活と協調性				
9	模擬保育、振り返り：集団生活と協調性				
10	保育指導計画の立案と検討：自己統制と自律性				
11	模擬保育、振り返り：自己統制と自律性				
12	保育指導計画の立案と検討：道徳の芽生え				
13	模擬保育、振り返り：道徳の芽生え				
14	保育指導計画の立案と検討：幼児期の終わりまでに育ってほしい姿～就学前の5歳児の人間関係～小学校の教科とのつながり				
15	ディスカッション：幼児期の終わりまでに育ってほしい姿～就学前の5歳児の人間関係～・小学校の教科とのつながり				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『幼稚園教育要領<平成29年告示>』	文部科学省			
	『保育所保育指針<平成29年告示>』	厚生労働省			
	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>』	内閣府、厚生労働省、文部科学省			
適宜プリントを配布する。					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習保育内容人間関係 田代和美・松村正幸編著 建帛社</li> <li>・視聴覚教材 DVD『3年間の保育記録』岩波映像株式会社</li> </ul>				
成績評価					

評価方法		割合(%)
レポート		50
ワークシート(事例検討・発表)		50
<b>学習到達目標</b>	<p>1.幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらい及び内容を理解し、幼児期における人間関係の発達を理解し、人間関係の側面から個々の幼児の課題や問題に気づき、それを配慮した人間関係の発達を促す指導案を作成することができる。</p> <p>2. 保育指導計画を立案および発表し、振り返りを通して具体的な保育の指導法を理解し保育を改善する視点をもつことができる。</p> <p>3. 教員として、幼児への責務を理解し、他の教員と連携、協働して指導することができる。</p>	
<b>先修条件</b>		
<b>実務経験</b>	<p>実務経験あり：幼稚園、保育園に幼稚園教諭、保育士として従事した後、保育者養成校である他の大学、短期大学で、幼児教育および心理学系の課程科目を担当してきた。また、小学校、幼稚園のスクールカウンセラーとして子どもや保護者を対象とした心理臨床経験を有している。これらの経験をもとに、受講者の興味関心に沿って教授する。</p>	
<b>その他</b>		